

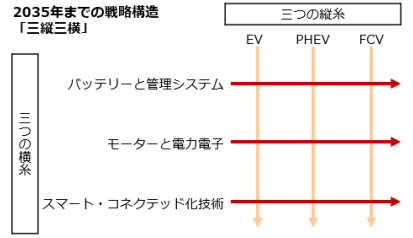
2025年 2030年 2035年

NEV産業発展計画(2021-2035年)

20年11月3日
工信部
国务院承認

以下のビジョン実現のため、充電あるいはバッテリー交換のサービスネットワークの敏捷性及び高効率性を確保、水素エネルギーの供給体系の受当な整備が必須。エコ・低炭素と社会運行の効率化を促進しなければならない。そのためには「三縦三横」を堅持しなければならない

以下も明記
V2G…NEVと電力ネットワークの相互性強化。NEVの蓄電池化
V2X…次世代無線通信ネットワークの整備と連動して強化



ビジョン	25年、中国NEVの市場競争力は顕著に強力なものに、バッテリー、モーター、OSなどで飛躍的な発展があり、安全水準は全面的に向上。NEV販売比率は20%に。高度な自動運転車両が限定エリアで商用化されている	35年、中国NEVのコア技術力はグローバル最先端に到達、品質やブランドは国際競争力を備える。BEVが新車販売の主流になり、公共交通機関は全面的に電動化、FCVは商用化、高度な自動運転が大規模運用されている
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

省エネ・NEV技術ロードマップ2.0

20年10月27日
中国自動車行程学会
工信部サポート

エコカー	燃費は5.6L/100km走行	燃費は4.8L/100km走行	燃費は4.0L/100km走行。トラックは10年比15~20%減、バスは19年比20~25%減
BEV、PHEV	2035年の販売比率は50%以上を目指す。このうち、95%以上がBEV。乗用車のほぼすべての分野、商用車の短距離用途では完全にBEVが主力となっている		
FCV	商用車中心。特にバスや都市物流車。水素資源が豊富なエリアで大中型バスや物流車を始め、より長距離の中大型トラックや作業車へ展開。2030年~35年、保有台数は100万台。コア技術を掌握		
コネクテッド	高レベル自動運転が市場に登場	高速道路上でほぼ展開	他の交通参加者とともに高度に連携を取っている

ICV技術ロードマップ2.0

20年11月11日
国家ICVイノベーションセンター

PA(2)・CA(3)レベルICV	新車販売の50%以上	新車販売の70%以上	シェアリングで協調的、グリーンでエコ、高効率なネットワーク、安全性重視のスマート社会を実現、中国の自動車強国実現をサポート、自動車社会に突入、中国のほとんどのエリアで自動運転レベル4以上の技術が広範に運用されている
HA(4以上)レベルICV	市場参入開始	新車販売の20%	
C-V2X	新車販売の搭載率50%	基本的に普及完了	
HAレベルICV展開	限定エリアや特定シーンでのビジネス応用実現	高速道路で幅広く応用、一部都市の道路で大規模に応用展開	